

国語 十四—一	第三学年及び第四学年の内容 「だれが」「いつ」「どこで」「なにを」「どのように」「なぜ」	名前	年	組	番
------------	---	----	---	---	---

つぎ ぶんしょう
 次の文章を読み、あとの問題に答えましょう。
 もんだい

ひでお
 英夫の家の近所きんじよには、小さな町工場がならんでいました。英夫は、しよく人さんの作業さぎようを見るのが好きで、学校から帰るとよく町工場に行きました。

また、英夫はベーゴマ遊びあそびが大好きだいすでした。負まけてしまうと相手あいてにベーゴマを取とられてしまうので、なんとしても強いベーゴマを作ろうと必死ひっしでした。

ある日、英夫は、ベーゴマを強くするために、しよく人ざいりようさんから材料ざいりようを分けてもらい、重おもくしようとして手くわを加えました。

(よし、試ためしてみよう。)

そう思って遊びあそびに出ようとしたとき、三げんとなりの五郎ごろうが家をたずねてきました。五郎は、体が弱よわくて学校を休みがちな子でした。

学校に行くことができないため、英夫へんきように勉強べんきようを教おしえてほしかったのです。

※東京都道徳教育教材集小学校三・四年生版「心しなやかに」の

「あの日をさかいに — 糸川 英夫 — より

- ① だれが登場とうじようしていますか。() () ()
- ② どこでの話ですか。() () ()
- ③ 英夫は何を作ろうと必死ひっしでしたか。() () ()
- ④ 五郎はなぜ英夫をたずねてきたのですか。() () ()

国語 十四―二	第三学年及び第四学年の内容 「だれが」「いつ」「どこで」「なにを」「どのように」「なぜ」	名前	年 組 番
------------	---	----	-------

つぎ ぶんしょう もんだい
次の文章を読み、あとの問題に答えましょう。

絹枝は、自分がいつゴールに入ったのかわかりませんでした。体力を使い切って、自分の力で立ち上がることもできません。日本の二人の選手に体をささえられながら、なんとかフィールドを動きました。おうえんしていた人々は、その絹枝のすがたに感動してなみだし、心からはく手をおくりました。

絹枝の女子八百メートル走決勝の結果は、二位でした。日本人女せいで初めてのオリンピックメダリストがたん生したしゅん間でした。絹枝のこれまでの努力がむくわれたのです。しかも、絹枝の記録はそれまでの世界記録を大きく上まわるものでした。

国旗がポールにあげられたとき、絹枝は、国旗を見つめて泣きじやくりました。ついに、絹枝の悲願は達成されたのです。

※東京都道徳教育教材集小学校三・四年生版「心しなやかに」の

「ワンダフル・ヒトミ ―人見 絹枝―」より

- ① 日本人女せいで初めてのオリンピックピックメダリストになったのはだれですか。
()
- ② 絹枝は日本の二人の選手にどのようにされながら動したのですか。
()
- ③ 絹枝は何を見つめて泣きじやくりましたか。
()
- ④ おうえんしていた人々は、なぜ心からはく手をおくったのですか。
()

国語 十四―三	第三学年及び第四学年の内容 「だれが」「いつ」「どこで」「なにを」「どのように」「なぜ」	名前	年 組 番
------------	---	----	-------

次の文章を読み、あとの問題に答えましょう。

じょうおう二（一六五三）年に工事が始まりました。多摩川から水を引きこむ取り入れ口は、今の国立市の青柳のあたりと決めました。兄弟は、工事のために集まった人たちと一生けん命に働きました。ときには、夜にちょうちんをかざしてそく量することもありました。

しばらく工事が進んだところで、試しに多摩川の水を流してみることになりました。（うまくいってくれ。）工事の成功を願うばかりでした。初めは、順調に水が流れました。工事にかかわる大ぜいの人も、水の流れをじっと見つめていました。しかし、予定の場所まで、水は流れてきませんでした。水の流れはと中で止まって、先へ進まなくなってしまうのです。

「どうした。なぜ、水が流れてこない。」

兄弟はさげびました。そく量の失敗でした。

※東京都道徳教育教材集小学校三・四年生版「心しなやかに」の

「江戸の人々のために ―玉川兄弟―」より

- ① 工事が始まったのはいつですか。
()
- ② この場面で、多摩川から水を引きこむ取り入れ口はどこですか。
()
- ③ 工事にかかわる大ぜいの人は水の流れをどのように見ていましたか。
()
- ④ なぜ水の流れはと中で止まって、先へ進まなくなってしまったのですか。
()

国語 十四―四	第三学年及び第四学年の内容 「だれが」「いつ」「どこで」「なにを」「どのように」「なぜ」	名前	年	組	番
------------	---	----	---	---	---

つぎ ぶんしょう
次の文章を読み、あとの問題に答えましょう。
もんだい

たいししょう
大正十二年（一九二三年）九月一日、関東地方でマグニチュード七・九のひじょうに大きな地しんが発生しました。関東大しんさいです。ちようどお昼時であったため、百三十か所以上から火の手が上がり、またたく間に東京全体にもえ広がりました。都心部と下町の大半が焼失し、死者は東京だけでも六万八千人以上にのぼりました。

この大きな地しんの次の日の朝、人々はもう動き始めていました。協力してたき出しをしている人々、がれきをかた付けている人々、悲しみをこらえ、一生けん命に生きようとする人々のすがたがありました。それを見た後藤は、はつとして、強くこう決意したのです。（思いなやんでいるひまなどない。この人々のためにも、一日も早く東京をふっこうしなければならぬ。）

※東京都道徳教育教材集小学校三・四年生版「心しなやかに」の「未来に生きるまち、東京―後藤 新平―」より

- ① 大きな地しんが発生したのは、九月一日のいつですか。
()
- ② マグニチュード七・九のひじょうに大きな地しんが発生したのはどこですか。
()
- ③ 火の手はどのようににもえ広がりましたか。
()
- ④ 一生けん命に生きようとする人々のために、後藤はなにを決意したのですか。
()

国語 十四―五	第三学年及び第四学年の内容 「だれが」「いつ」「どこで」「なにを」「どのように」「なぜ」	名前	年 組 番
------------	---	----	-------

取り組んだ日 月 日

次の文章を読み、あとの問題に答えましょう。

ルートビビは、二十代なかばで、すでに音楽家として活やくをしていました。特に交きよう曲とよばれる曲を作る才のうはすばらしく、他の国からも作曲をたのまれるほどこでした。

ルートビビは、いくつも重なり合つてできる音を聞き分けたり、音の組み合わせを作り出したりすることが、とても得意でした。音楽家としてこのう力は、とても役に立っていたのです。しかし、このころから、ルートビビの耳は病気にかかり、少しずつ音が聞こえなくなっていました。

あちこちの病院をたずねては、耳の治りようをたのみましたが、治せる医者はいませんでした。あきらめずに医者さがし続け、何年もの月日がすぎてゆきました。

ルートビビはだんだん聞こえなくなっていく耳に、希望を失っていました。

※東京都道徳教育教材集小学校三・四年生版「心しなやかに」の「わたしの命は音楽とともに」―ルートビビ・バン・ベーターベン―」より

- ① ルートビビが、すでに音楽家として活やくをしていたのはいつですか。
()
- ② ルートビビは、なぜ他の国からも作曲をたのまれたのですか。
()
- ③ ルートビビが、得意だったことはなんですか。
()
- ④ ルートビビの耳は病気にかかり、どうなりましたか。
()